

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 2 月 1 日

事業所名 コペルプラス 千駄木 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	法令を遵守したスペースを確保しております。	
	②	職員の配置数は適切である	4	0	法令を遵守しております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	毎日清掃しております。来所してからの流れは、絵で表示しております。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	各時間、入れ替えの際に消毒と換気をしております。療育では、お子様に合わせて、机のレイアウトや椅子の工夫をしています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	毎月の職員会議で、職員全員で話し合う機会を設けております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	集計後は、職員で共有し、改善に繋がっております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	毎年、ホームページに掲載しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		今後、必要に応じて検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	年間の内部研修予定を作成してお	

					ります。月に1回内部研修を実施。担当を職員全員で割り振っております。自己研鑽で、外部の研修を受け、内部への伝達研修の機会を設け、資質向上に繋げております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	体験療育の状況とアセスメントの結果、保護者様のニーズを職員全員で共有し、計画を作成しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	コペルプラスの発達段階シートとアセスメントツールを利用しております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	お子様の特性を把握し、保護者様のニーズに合わせて、ガイドラインの支援の内容を選択し、支援の提供をしております。家族支援として、ペアトレ、コミユトレの後には保護者様同士のグループ相談会を設けております。また、関係機関との連携や小学校への移行支援も行っております。	

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	療育前に支援計画の内容を確認し、計画に沿った支援を提供しております。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	毎日の昼礼、終礼で療育の状況の共有を図っております。次回の支援の立案を行っております。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	前回の記録を見て、空き時間に職員間で声かけ、相談をしております。提示方法を変え、遊びを発展させながら、お子様に合う療育の展開ができるように工夫しております。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	定期的カンファレンスを行っております。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	毎朝朝礼で、1日の流れ、役割分担、支援の内容の確認をしております。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	毎日の終礼で情報共有、改善に努めております。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	療育後は、記録をしております。また、保護者様よりご家庭の状況を伺ったり、相談を受けた際にも別途記録を

					残し、職員間で共有支援の検証・改善に繋げております。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	6か月以内に定期的に行っております。また、目標が達成されていると職員全員で判断した場合、その都度見直ししております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	依頼があった際、出席させて頂いております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	ご家庭の要望に応じて、関係機関と連携を図っております。また、文京区の児童ネットワーク会議にも出席しております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4		現在、医療的ケアが必要なお子様の在籍はありません。必要に応じて、医療機関と連携した支援が図れるように努めます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	4		必要に応じて、医療機関と連携した支援が図れるように努めます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	保護者様より依頼があった際、保育園、幼稚園との情報共有、連携を行いました。	

②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	保護者様から依頼があった場合、支援シートを作成し、小学校へ提出頂いております。その後、小学校の先生と電話で情報を共有、連携を図りました。	
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	児童発達支援センターの方と面談や電話で情報を共有、連携させて頂いております。文京区役所、障害福祉課企画の研修にも参加させて頂いております。	
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4		今後、機軸があれば検討致します。

②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	文京区の障害児支援ネットワーク会議に出席させて頂いております。	
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	療育中に保護者様からご家庭の状況を伺ったり、フィードバックの時間で共有が図れるように努めております。	
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	0	ペアレント・トレーニングを開催しております。また、毎月のコミュトレの後に保護者様のグループ相談会を設けております。また、保護	

					者様のご要望に沿って、相談に応じ、関係機関との連携を図ることで、家族支援に努めております。	
保護者への説明責任等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に丁寧に説明するよう心掛けております。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	ガイドラインに基づき計画を作成し、保護者様より同意を得ております。	
	⑫	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	定期的なモニタリングの際や、フィードバック、ご要望があれば面談を設けて必要な助言と支援を行っております。	
	⑬	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	父母会はありませんが、通勤後のグループ相談会で、保護者様同士の連携の支援をしております。	
	⑭	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	保護者様の申し入れがあった際は、迅速に対応させて頂いております。	
	⑮	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	掲示物、LINE、ブログを通じて情報を発信しております。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	個人ファイルは、鍵付き書庫に保管しております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	情報伝達の方法は、保護者様の要望や状況に合わせております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		機会があれば、検討してまいります。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	内部研修に組み込み、職員同士で確認しております。また、入社時の研修も行っております。その際、発生を想定した訓練も行っております。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	年に2回（9月、3月）地震と火災を想定した避難訓練を行っております。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	契約時に、お子様の状況を伺い、フェイスシート、アセスメントシートへの記載をお願いしております。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	4		把握はしております。食事の提供はないため、医師の指示は頂いておりません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	発生時は、その日の終礼で共有し対策を検討しております。また、記録に残すだけでなく、年に1回事例を集計	

				分析し、再発防止に努めております。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	年に2回、内部研修を行っております。虐待防止委員会を設置、会議を開催し議事録をまとめております。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	契約時に丁寧に説明するよう心がけております。身体拘束の適正化委員会を設置、会議を開催し議事録をまとめております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。